

士別市子ども議会

～チャレンジ応援事業～

2024

士別市子ども議会つうしん

2024年第3号 令和6年7月3日

発行：士別市教育委員会生涯学習部
中央公民館

企画運営：士別市まちづくり塾7期生
士別市東6条4丁目士別市民文化センター内



令和6年6月28日(金)第3回学習会/士別市民文化センター会議室

ワークショップ① ホームワーク振り返り～地域おこし協力隊 荒又
友達、クラブ活動の仲間、少年団の仲間、親、親戚、地域の人などに聞いた、「自分の夢、
目標、叶えたいこと」、「その夢の問題、課題となっていること」を各自発表し、「夢の実現」
や「困り事の解決」の考え方について学びました。

夢、目標、叶えたいこと	問題・課題
期末テストで90点以上を取る	もっと勉強する
チアリーディングで日本一をとる	もっと練習する
お金持ちになる	良い大学に入る
人を元気にする	普段から人に優しくする
看護師になる、高収入の仕事に就く	もっと勉強する
保育士になる	子どもと仲良くする
プロ野球選手になる	たくさん練習する
産婦人科医になる	安定してお金を稼ぐ
卓球選手になる	練習と頭を良くする
農家になる	たくさんの勉強と経験をする
駄菓子屋になる	製造

ワークショップ② 夢の実現&困り事の解決 事例紹介

■ゲストハウス&カフェバー エストアール オーナー 石川陽介さん

- ・士別は季節により宿泊施設が不足することがあるという課題を知り、その課題解決のため、エストアールをオープンした。
- ・自分たちスタッフ、ゲストハウスに来てくれる人たち、関わってくれる人たちが幸せになり、その幸せと笑顔が広がることを目指している。
- ・今後は、合宿の選手、自動車試験の社員さんなど、沢山の方に士別に泊まっただけのような旅館を引き継ぎたい。また、旅をしながら士別で働き、人手不足の解消や市内の飲食店にも行ってもらえる仕組みも作りたい。



■大野土建株式会社 代表取締役副社長 大野裕継さん

- ・創業者は四国高松出身の大野直吉氏。家族を幸せにしたいと明治39年、開拓が進む士別へ入植した。
- ・夫婦揃って食堂経営を始め、開拓者に美味しい食事を提供したほか、砂利運搬の仕事などをしていた。ある時、台風で天塩川が氾濫し鉄道が寸断され、その復旧工事に携わったことにはじまり、会社は今年で112年を迎える。
- ・主に建物を建てることを仕事としているが「助けてくれてありがとう」と言われることの積み重ねで世の中が成り立っていると気付いた。
- ・大野土建という会社で一生懸命働き、士別、北海道、日本、世界を幸せにできたらと思いつつ、日々活動している。



■バイオマス堆肥化施設 村田施設長、横山事務員

- ・この施設の運用開始は平成25年4月1日。
- ・当時、ゴミを埋める場所がなくなってきたこと、また、環境汚染をはじめ、地球温暖化に影響があるとされる「メタンガス」排出の課題があった。
- ・ゴミを焼却処分すると、排気ガスが環境に影響するため、本市では埋め立てを採用しているが、循環型社会の構築と環境に優しい農業を目指し、バイオマス（再生可能な有機性の物質）の利用を考え、市民の皆様には細かな分別をしていただき、生ゴミを堆肥化することができている。
- ・施設の運用後、埋め立て量は年間約30%、温室効果ガスは20%前後削減されている。



次回も「夢の実現」と「困り事の解決」をしている市内事業所等の事例紹介を行い、子ども議員の「夢の実現」や「困り事の解決」について、整理していく予定です。